

第六回（九月）定例会では十五人の議員が市政について質問しました。

一般質問



議員名	主な質問項目	掲載頁
大草 満	都市公園の整備、管理	6
渡部一二実	男性職員の育児休業取得率向上、テレワークの活用促進	6
渡邊 博夫	学校規模・配置の適正化、GIGAスクール、認知症基本法	7
小澤 隆	特産品のブランド化	7
井原三千雄	大平のまちづくり、広域観光連携	7
小泉 宣子	部活動の地域移行、自治会活動	7
長田 吉信	マイナンバーカード利用、就職学生支援事業	8
堤 飛鳥	災害廃棄物の仮置場、リユース	8
浅田美重子	不登校児童生徒への対応、HPVワクチンの男性接種について	8
植松 恭一	沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金について	8
江本 浩二	沼津市立病院の医療事故について	9
山下富美子	女性職員の管理職登用、沼津夜間救急医療センターの使途不明金	9
川口 慶	本市西部地域のまちづくり	9
久保田吉光	GISを活用した情報発信の導入、不適切盛土に対する対応	9
平野 謙	サンウェルぬまづの活用、AEDの設置	10

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文中中の波線（~~~~）については、P10の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら

男性の育児休業取得に係る取組を 市内企業へ横展開させる戦略は

問 本市男性職員の育児休業について、①令和五年度の取得率は。②令和六年度の取得率は。

答 総務部長／①令和五年度は、育児休業の取得対象者が三十二人、うち取得者が三十人で、取得率は九十三・八パーセントとなり、これは県内の政令市を除く二十市の中で二番目に高い水準である。②令和六年八月末時点では、対象者が十三人、うち取得者が九人、取得予定者が四人で、合計の取得率は百パーセントとなっている。

問 市内企業における男性の育児休業

業等の取得に対する本市の取組は。

答 産業振興部長／市内企業を対象としたセミナーにおいて、本市役所での取組や実績等を紹介するとともに、従業員のモチベーション向上や企業のイメージアップなど、育児休業等の取得の推進による企業側のメリットや効果を紹介した。今後も、市内企業における男性の育児休業等の取得の積極的な推進が図られるよう、国等の動向を注視し情報収集を行うとともに、引き続き先進事例の情報発信やタイムリーな情報提供等を行い、啓発活動の強化に努める。

渡部 一二実



快適な公園を提供するための 本市の取組は

問 都市公園の設置が少ない地域への開設に向けた取組は。

答 都市計画部長／西浦地区では、地元自治会の要望を受け、未利用地を活用した公園の整備など、地域の実情に沿った緑地空間の整備を行っている。また、原西部地区では、新貨物ターミナルの建設に合わせ、緑地調整池の整備を進めており、都市公園としての開設を目指している。その他の地域においても、都市公園のほか、空き地等を活用した緑地空間の創出など、地域の実情や市民ニーズ等を勘案し、検討していく。

問 都市公園の管理体制に対する本市の認識は。

答 都市計画部長／都市公園の管理は、市の直営や民間への委託のほか、自治会や都市公園等愛護会などの協力を得て行っているが、近年は高齢化や公園施設の老朽化等により、対応に苦慮している。今後は、他市町の状況を参考に、誰もが公園の不具合を通報できるシステムの導入を視野に入れるほか、市民や民間企業等との連携の強化等、よりよい管理体制の在り方を検討し、引き続き快適な公園の提供に努めていく。

大草 満

